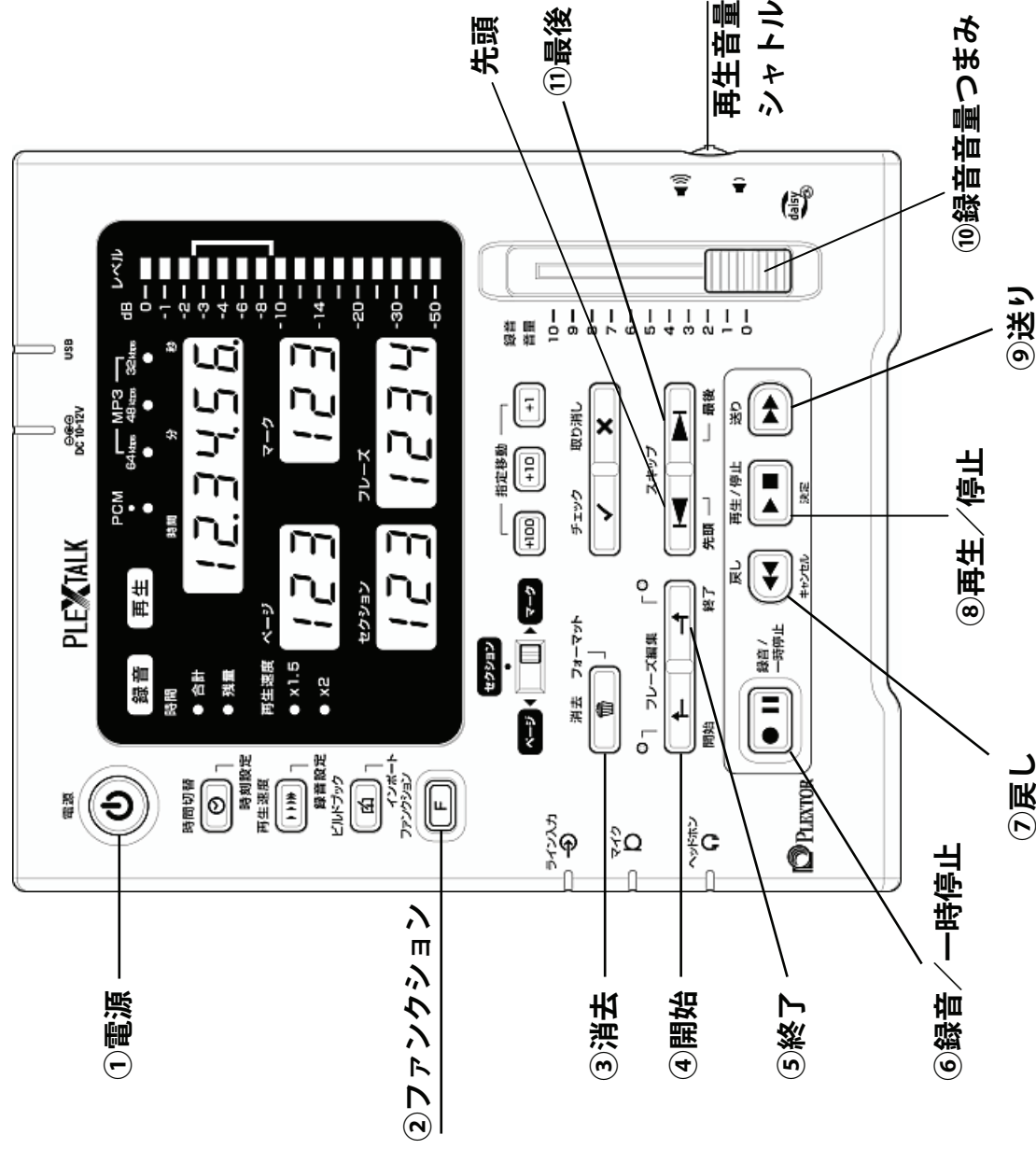
まず使ってみましょう

PLEXTALK®

デジタル録音機　DR-1　クイックマニュアル

この度はお買い上げいただきありがとうございます。本書では **DR-1** の基本的な操作を説明します。詳しい使用方法は取扱説明書をご覧ください。

注：上図のボタンの番号①から⑪は本文中の番号に対応しています。

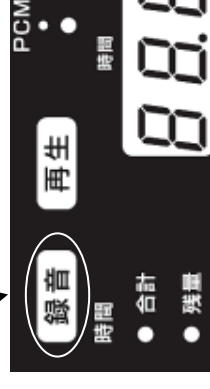
1．準備する（取扱説明書 p.16-20）

CF カード・マイク・ヘッドホン（別売）を本体にセットし、電源アダプタを本体に接続して、電源を入れます。 **最初に時刻設定の画面が表示されます**ので、取扱説明書 p.22 をご覧になり、時刻を設定してください。

（注：CF カード・マイク・ヘッドホンは本体に付属しておりません。別途ご用意ください。

CF カードの出し入れの方法は裏面をご覧ください。）

2．録音する（取扱説明書 p.26-28）

1) ②ファンクション［F］を押しながら⑪最後［▶▎］を押して最後へ移動します。
2) フレーズ表示部が「End」と表示されます。（空のカードの場合、「- - - -」と表示されます。）
3) ⑥録音／一時停止［●Ⅱ］を押し、録音ポーズ状態にします。録音ランプが<u>点滅</u>します。
4) レベルメータを見ながら⑩録音音量つまみを調節します。
   最大音量が –8dB となるように調節します。
5) ⑥録音／一時停止［●Ⅱ］を押すと、録音が始まります。
   録音が始まると、録音ランプが<u>点灯</u>します。
6) 一時停止する時は⑥録音／一時停止［●Ⅱ］を押します。
   録音を止める時は⑥録音／一時停止［●Ⅱ］を押して、
   一時停止させた後に⑧再生／停止［▶■］を押します。

3．再生する（取扱説明書 p.29）

1) ⑦戻し［◀◀］または⑨送り［▶▶］を押すと移動先の１フレーズが再生され自動的に停止します。
2) ⑧再生／停止［▶■］を押すと続けて再生します。止める時は⑧再生／停止［▶■］を押します。

4．上書き録音する（録音中に間違えた箇所を録り直す場合）（取扱説明書 p.39）

1) 例文１のように読み間違えた際、⑥録音／一時停止［●Ⅱ］を押し、録音ポーズ状態にします。
   （注：この時、再生／停止ボタンを押してしまうと上書き録音はできません。）
2) ⑦戻し［◀◀］を押し、読み間違えたフレーズ（例文１のフレーズ３）まで戻ります。
3) ⑥録音／一時停止［●Ⅱ］を再度押して録音を再開し、「おじいさんは山へ柴刈りに、おばあさんは川へ洗濯に行きました。」と正しく読み直します。読み直した部分が上書きされます。

例文１.

<u>昔々あるところに、</u>（間）<u>おじいさんとおばあさんがいました。</u>（間）
（フレーズ１、フレーズ２）

<u>おじいさんは川へ柴刈りに、</u>（間）<u>おばあさんは川へ洗濯に行きました。</u>（間）
（フレーズ３、フレーズ４）

5．パンチイン録音する（録音終了後、訂正箇所にはめ込む場合）（取扱説明書 p.42）

例文２のフレーズ１、フレーズ２を録音終了後に訂正します。

1) ⑦戻し[◀◀]または⑨送り[▶▶]を押して訂正する部分の先頭フレーズ(例文２のフレーズ１)に移動し、④開始[開始]を押すと、訂正する範囲の先頭が指定されます。
2) ⑨送り[▶▶]を押して訂正する部分の最後のフレーズ(例文２のフレーズ２)に移動し、⑤終了[終了]を押すと、訂正する範囲の最後が指定されます。
3) ⑥録音／一時停止[●II]を押し、録音ポーズ状態にし、録音音量を調節します。
4) ⑥録音／一時停止[●II]を再度押して録音を再開し、「昔々信濃の国に、おじいさんとおばあさんが住んでいました。」と朗読し、⑥録音／一時停止[●II]を押して一時停止します。
5) ⑧再生／停止[▶■]を押すと録音が停止し、「昔々あるところに、おじいさんとおばあさんがいました。」が「昔々信濃の国に、おじいさんとおばあさんが住んでいました。」に入れ替わります。

例文２.

フレーズ１ 昔々あるところに、（間）フレーズ２ おじいさんとおばあさんがいました。（間）
フレーズ３ おじいさんは山へ柴刈りに、（間）フレーズ４ おばあさんは川へ洗濯に行きました。（間）

6．消去する（取扱説明書 p.43）

1) ⑦戻し[◀◀]または⑨送り[▶▶]を押して消去する部分の先頭フレーズに移動し、④開始[開始]を押すと、消去する範囲の先頭が指定されます。
2) ⑨送り[▶▶]を押して消去する部分の最後のフレーズに移動し、⑤終了[終了]を押すと、消去する範囲の最後が指定されます。
3) ③消去[消去]を押すと、指定された範囲が消去されます。

7．挿入録音する（録音終了後、読み忘れた箇所を割り込ませる場合）（取扱説明書 p.40）

1) ⑦戻し[◀◀]または⑨送り[▶▶]を押して、読み忘れた部分の前のフレーズ（４ページの例文３のフレーズ２）に移動します。
2) ⑥録音／一時停止[●II]を押して録音ポーズ状態にし、録音音量を調節します。
3) ⑥録音／一時停止[●II]を再度押して録音を再開し、「おじいさんもおばあさんも仲良しで評判でした。」と朗読し、⑥録音／一時停止[●II]を押して一時停止します。
4) ⑧再生／停止[▶■]を押すと録音が停止し、朗読したフレーズが挿入されます。

例文３.

フレーズ１ 昔々信濃の国に、（間）フレーズ２ おじいさんとおばあさんが住んでいました。（間）
おじいさんもおばあさんも仲良しで評判でした。（間）　←　読み忘れた部分
フレーズ３ おじいさんは山へ柴刈りに、（間）フレーズ４ おばあさんは川へ洗濯に行きました。（間）

注意事項

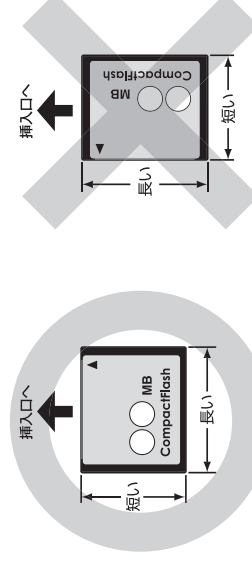
■電源アダプタを接続する際の注意

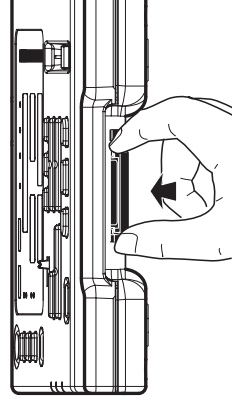
付属の電源アダプタ以外のものは使用しないでください。故障、火災、感電の原因になります。

■静電気に関する注意

CF カードや SD カードアダプタは静電気に弱いため、録音中に静電気を受けるとデータが破壊されることがありますので、電源が入っている時はカードに触れないようにしてください。

■CF カードの入れ方

1) 電源をオフにします
2) 横に長く、前後に短い向きにします。

3) 突起部分を手前、下向きにします。

4) 本体正面の CF カード挿入口に挿入します。

■CF カードの出し方

1) 電源をオフにします。
   電源が入った状態で CF カードを抜くとデータが破壊される可能性がありますので、必ず電源を切ってください。
2) 取り出しレバーを押します。

3) CF カードをつまんで取り出します。

127-3780901